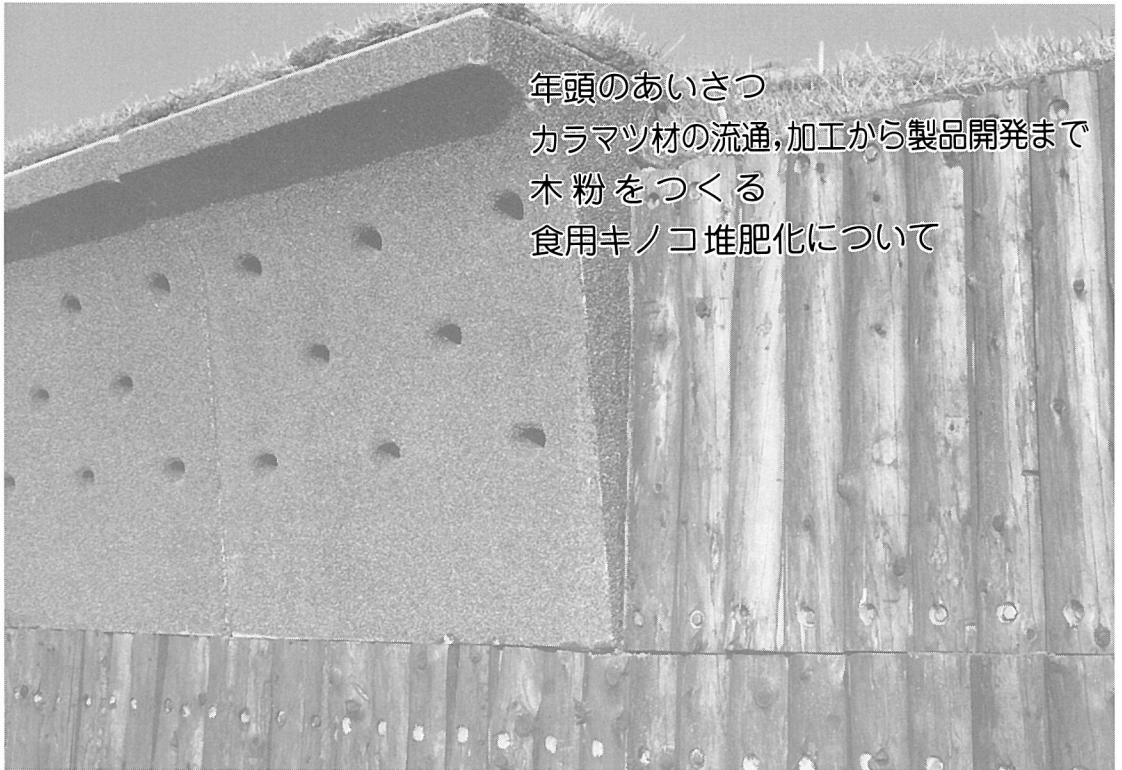


ウツデイエイジ



年頭のあいさつ
カラマツ材の流通,加工から製品開発まで
木粉をつくる
食用キノコ堆肥化について

ウッドエイジ

木材の研究と普及

第42巻・通巻 485号

目次

年頭のあいさつ…………… 1 A
カラマツ材の流通，加工から製品開発まで… 2 A

木粉をつくる…………… 1
一目皿付き衝撃型粉碎機の処理能力と
正しいモータ馬力の選定について—
食用キノコ廃培地の堆肥化について…………… 8

技術のおたずねにこたえて…………… 7

〔林産試験場の技術相談の窓口は？〕

内外の話題…………… 7

〔構造用材の強度区分〕

林産試験情報…………… 14

〔林産試験場報の紹介〕

林産試ニュース…………… 15



旭川 営巣ブロック

旭川の秋月橋上流と金星橋上流には護岸工事の一環として、カワセミなどのための営巣ブロックが設置されています。

このブロックは1メートル四方のコンクリート製で、一面に野鳥が巣作りを行えるように1～8個の穴があいており、さらにコンクリートブロックの表面には、景観に配慮するためにカラマツの半割り丸太がボルト止めされています。

今後、護岸工事など環境面に大きく影響を与える工事には、生態系を考慮したり木質系素材などを積極的に使用していく風潮が高まって行くでしょう。